

○豊太郎は悪くない

はじめに

僕はこの舞姫を読んで、エリスが発狂してしまったのは豊太郎の優柔不断な性格のせいだと思った。

しかし深く読んでいくうちに、元をたどればこの優柔不断な性格にさせた親、上司、雰囲気エリスを発狂させたのだと思う。よってエリスが発狂したのは豊太郎のせいではない、つまり豊太郎は悪くないということを述べたい。

○本論

まず豊太郎は幼い頃から厳格な家庭教育を受けていた。ということは親によって行動の制限を受けているということになる。これにより新しいものに触れたときどうしていいかわからなくなる。そして避けるようになってしまう。また官長は、豊太郎を生きた法律にしようとした。自分を都合のよい器械にしようとし、利用されていたとすれば、誰だって人を信じられなくなる。よってまた人との交わりを避けてしまう。また、大臣の圧力によって自分の本心を言えず、葛藤してしまう。

○結論

エリスを発狂させたのは豊太郎の優柔不断な性格のせいだがその性格を形成したのは、親、官長、である。また本心を表すことができない上司の圧力も優柔不断にさせている原因の1つといえる。もし幼い頃からもっといろいろなものに触れ、官長に利用されずに自分の本心を伝えることができる雰囲気なら豊太郎は優柔不断にならなかった。エリスは発狂しなかったのではないかと思う。